

「世界自閉症啓発デー」に当たっての文部科学大臣メッセージ

平成29年「世界自閉症啓発デー」を迎えるに当たり、メッセージをお送りします。

平成19年12月の国連総会において、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」とすることが決議されてから10年目を迎えました。

また、日本では、本日から8日までを「発達障害啓発週間」として、自閉症をはじめ発達障害についての正しい理解の啓発に取り組む活動を行っております。

文部科学省では、発達障害を含め、障害のある子供一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な教育支援を行うことができるよう、関係機関が連携した特別支援教育の体制整備等の推進に努めているところです。

本年度は、発達障害を含め、障害のある子供の自立と社会参加を目指し、就学前から卒業後にかけて切れ目のない支援が行われるよう、教育、福祉、保健、医療、労働等の関係部局と連携した体制整備に支援を行う施策を新規に講じました。

また、障害のある方々が、学校においてはもちろん、就学前や卒業後も含め、その一生を通じて自らの可能性を追求できる環境を整え、地域の一員として豊かな人生を送ることができるようにするため、特別支援教育の生涯学習化を進めています。

具体的には、障害のある方の生涯を通じた学びを支援する観点から、文部科学省の実施する様々な施策を改めて見直すとともに、障害者のためのスポーツ、文化の振興等に総合的に取り組んでまいります。

結びに、この「世界自閉症啓発デー」や「発達障害啓発週間」が、全ての教育関係者にとって、障害についての理解を深め、本人や保護者の方々の気持ちに寄り添った支援について真摯に考え、実践する契機となり、自閉症をはじめ障害のある方々が自らの持つ能力を存分に発揮できる社会につながっていくことを強く期待いたしまして、私からのメッセージといたします。

平成29年4月2日

文 部 科 学 大 臣

松 野 博 一